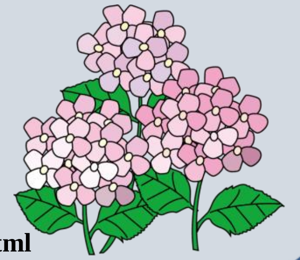
峡南教育事務所・峡南地域教育情報紙　　第１１８号　（２０１３年６月）

かけはし



発行：峡南教育事務所地域教育支援担当　　所在地：南巨摩郡富士川町鰍沢 771-2
TEL　：０５５６−２２−８１５４　　FAX　：０５５６−２２−８１４４
HP でもご覧になれます　URL：http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html

◆かけはし 118 号の内容◆
1p　地推協理事会･海洋道中抽選会
2p　山車巡行まつり(富士川町)
3p･増穂中思春期体験学習
4p　定林寺立正保育園･勧学院短信･お知らせ

峡南地域教育推進連絡協議会（地推協）
理事会開催

６月７日(金)に身延町総合文化会館において平成 25 年度 峡南地域教育推進協議会（地推協）の第１回理事会が開催され、役員と理事をはじめ 19 人の関係者の出席のもと、平成 24 年度の事業報告及び決算報告が行われました。続いて平成 25 年度の役員体制、事業計画案と予算案についてそれぞれ審議が行われ、新役員として、会長に峡南地区教育委員会連合会会長の丹澤葉子氏（市川三郷町教育委員長）が選出されたほか、副会長４名、理事 12 名、監事１名の方々がそれぞれ選ばれました。また、事業計画については、地域教育フォーラムの骨子などが検討され、子どもを取り巻く家庭、学校、地域における連携の重要性などが示されました。なお、地推教の平成 25 年度総会は、下記のとおり、７月９日(火)に同じ身延町総合文化会館において行われる予定です。

<地推協とは> 平成 10 年の中教審答申と同 12 年の教育改革国民会議提案により、翌 13 年にスタートした地方教育連携推進のための組織です。平成 17 年に正式発足し、町教育委員会･小中学校をはじめ、県立学校や PTA、幼稚園、保育所(園)、社会福祉関連機関などの、子どもと地域教育に関わる多くの人々によって構成されて現在に至ります。異校種連携や地域関連の事業等を幅広く推進する母体となっており、事務局は県の教育事務所から平成 22 年度に各町教育委員会による輪番制へ移管され、より地域に密着した積極的な事業展開が図られています。

平成 25 年度 地推協総会 及び 人権講演会のお知らせ

峡南地域教育推進連絡協議会総会の開催にあわせ、峡南教育事務所が主催する「人権講演会」を今年も実施いたします。学校や社会教育に関わる方々の研修の機会とするとともに、広く社会における人権問題への意識を高める契機となることを目ざしています。今年は身近な人権に関わる課題として「いじめ問題」を取り上げ、学校・家庭・地域が一体となっていじめの防止や対策に取り組むことができるよう考えていきたいと思います。多くの方々のご参加をお待ちしております。

お問い合わせは峡南教育事務所までお願いします。

◆期日：平成 25 年７月９日(火)
◆会場：身延町総合文化会館
◆日程：地推協総会　午後 2:00〜3:00(1F ﾒﾃﾞｨｱﾙｰﾑ)
　　　　人権講演会　午後 3:15〜4:40(2F 会議室)
◆講師：山梨大学教育人間科学部准教授　高橋英児 氏
◆内容：「いじめ問題」の原因や背景について考え、その防止や解決に向けての学校・家庭・地域の役割と連携のあり方を探ります。

八丈島･でっかい体験2013
フロンティア・アドベンチャー 「やまなし少年海洋道中」参加者決定

６月２日(日)に「やまなし少年海洋道中」参加者抽選会が、中富総合会館で行われ、峡南地域では男子３名、女子５名の参加者が内定しました。今年の参加応募者数は 88 名と昨年度の 67 名に比べ、大幅に増加しました。県全体の抽選倍率は、男子 2.36 倍、女子 1.16 倍となり、せっかく応募してくれたにもかかわらず希望に添えなかった方が多数出てしまいました。残念ですが、ぜひその前向きな意欲をこれからの学校生活や地域の活動にいかしてください。

さて、この海洋道中は県の事業として今回で 26 年目を迎えています。地元・八丈島の方々に支えられ、また、指導を補助するボランティアリーダーの中には、かつてこの事業へ参加した大学生も含まれています。伝統と多くの人々に支えられた海洋道中は、貴重な体験の場となることでしょう。

今年は、８月１日〜９日（８泊９日）の日程で、洋上や八丈島の恵まれた自然の中での体験活動を通して、友情･連帯･自主の精神を育み、学校･地域のリーダーとして豊かな力量を身につけることを目ざします。参加する皆さんの実りある研修を心から期待します！

女子の予備抽選の様子(中富総合会館)

シリーズ 『峡南地域の祭事探訪』（20）～富士川町山車巡行まつり～

平成 25 年４月 21 日、約３年ぶりに富士川町山車巡行まつりが開催されました。鰍沢八幡神社の春の祭礼にともなってかつて毎年のように行われていた山車巡行も、道路事情や費用の問題、引き手の不足や山車の老朽化などにより、次第にその間隔が広がるようになって、前回は 19 年ぶりの平成 21 年 11 月、町の合併による鰍沢町の最後を飾るものでした。今回、山梨での国民文化祭の開催にあわせ、そして新しくできた富士川町としての伝統再興などから実施されることになりました。春先のうららかな気候が続く中、前日の荒天がやや気がかりではありましたが、まつり当日の午前中には雨はあがり、午後は穏やかな日差しに恵まれました。

仲町　本町　二丁目　上町

過去には８台を数えた「山車」も、現存するものは４台（いずれも町指定文化財）、しかしもっとも古いものはペリー来航の３年前である江戸末期嘉永３(1850)年の造立と伝えられ、実に 160 年の時を越えて受け継がれたものになります。高さ 4.64m、全長 7m、横幅 1.70mのサイズは、本当に堂々とした規模と重厚なデザインを誇ります。

まつりの原点の一つに、鰍沢の町が持つ文化の融合という伝統があります。400 年ほど前に、徳川家康の命を受けた京都の豪商角倉了以による富士川開削工事が行われ、盆地と駿河の富士川舟運をつかさどる拠点となったのが鰍沢河岸でした。幕府直轄領甲斐や信州からの年貢米は鰍沢から舟で駿河へ、逆に帰りの舟は旅人や商い荷の利用が認められ、大いに栄えることになった鰍沢は、交通の要所としてヒトとモノの豊かな交流の場として東西を結ぶ特有の文化が形成されることになったのです(『かけはし 108 号』平成 24 年６月発行　参照)。

連綿と受け継がれる「鰍沢ばやし」は、山車の上で演じられる笛・鉦・太鼓によるおはやしで、優雅な「京都の祇園ばやし」とテンポのよい「江戸の祭りばやし」が見事に調和して、独特の気品あるリズムを奏でています。そして「山車」も、京都風の雅な御所車デザインの台車の上に江戸風の粋で華やかな回り舞台を乗せた、他に見られない珍しい形状を伝えており、まさに異なる文化の見事な結びつきを今日に伝えています。

雨の中をいざ出陣！

さて､今回は午前中の雨天のため小学生による山車の引きは見合わせとなりましたが､昼過ぎの穏やかな天候の訪れとともに家族連れの大勢の子どもたちの姿が見られました。

巡行中の山車上の舞台を飾ったのは鰍沢中の生徒による鰍沢ばやしです。例年１年生が総合学習で取り組んでいますが、今回は４月のおまつりということで、２年生が３か月以上延長して特訓を重ね、本番に備えました。晴れの舞台を務めることができた中学生の皆さんは大きな達成感を味わうことができました。

堂々のおはやし(二丁目)

巡行の合間には、正面向きに 90 度回転させた舞台の上で華やかな日本舞踊や武田節などが披露されました。

特筆されるのは、今回はじめて４台の山車がそろって戸川橋を越えて増穂地内へ巡行したことです。橋への坂道を各町が協力して乗り越え、４台の山車がそろって進んでいきました｡いずれもとてもあたたかく迎えられ、たいへんな盛り上がりをみせました。まさに今回の山車巡行は､富士川町としての新たな伝統の出発点のひとつになったといえましょう。

可愛らしい日本舞踊（上町）

豊かな伝統のもとに新たな文化を創造していくという、富士川舟運の歴史に由来するまつりの姿が、新しい町づくりの中で、そして多くの子どもたちの手を経る中で､現在と未来に華やかに受け継がれています。

平成25年度　中学生思春期体験学習が始まりました

峡南地域
全 12 中学校

中学生を対象とする、学校・町・保健福祉事務所・教育事務所の4者が協力連携したこの事業は、町の保健師による「生命の尊さ」講義や乳幼児健診の場を借りた赤ちゃんとの「ふれあい体験」に基づく学習の機会として平成 11 年度にスタートしました。当初は多くが講義と人形の抱っこ体験などだけでしたが、現在は各校の教育課程に正式に位置づけた上で、学校と各町担当（**市川三郷町：いきいき健康課、富士川町：子育て支援課/福祉保健課、身延町：福祉保健課、早川町：福祉保健課、南部町：福祉保健課**）が主体となって、峡南地域のすべての中学校 12 校で、実際に生命に触れる学習の場として実施されています。

各町の保健師と助産師の皆さんには、協力をお願いするお母さんと、実施する学校との綿密な連絡・調整をしていただいており、例えば身延町では

4月に事前の担当者調整会議が行われました。

学習は、お母さんと赤ちゃんとの実際の触れ合いをすることが中心となっています。その基本的な流れは、「事前学習→プレ実習→体験学習→事後学習」とシステム化されて計画的に進められます。また、県の保健福祉事務所の保健師による事前指導や、大学の先生に講師をお願いする場合もあります。

中学生という多感な時期に、小さな命に実際に触れて、命の大切さを実感できるというこの体験はかけがえのない学習となることでしょう。ご支援・ご協力をいただいた関係の皆様、特に快く協力いただいているお母さんや赤ちゃん、妊婦の皆さんに心から感謝いたします。

町のお母さん・赤ちゃん・妊婦さんの協力で

増穂中学校

峡南地域で今年度最初になる思春期体験学習が、増穂中学校（保坂文彦校長）の３年生を対象に５月 7･9･10 日の３日間の日程で行われました。

学校と町の担当者との慎重な事前打ち合せが持たれ、体験学習は、１学級２時間、各回に助産師１人と保健師５人の指導をお願いするとともに、富士川町在住のお母さんと赤ちゃん４～５組(のべ 17 組)、妊婦さんひとり(のべ４人)の参加をいただくことで実施されました。特に、昨年度から行われている妊婦さんとの交流では、いろいろな質問をしたり、実際に恐る恐るおなかに手をあてさせていただく生徒の姿が印象的でした。

妊婦さんとの交流の様子

当日の具体的な学習は、①胎児の成長・妊婦さんとの交流、②子どもの成長と発達、③プレ実習（妊婦体験・人形を使っての抱っこ練習）、④赤ちゃん抱っこ体験・お母さんとの交流、で構成されました。４～５班に分かれてのグループ学習では、それぞれ１組の母子と保健師を囲んで、赤ちゃん抱っこ体験や母親への質問などを行いました。

生徒の代表からは、「協力してくれたお母さん、赤ちゃん、ありがとうございました。この経験を将来に役立てたいと思います。」と、厚いお礼のことばが述べられました。

異校種連携・地域連携に関わる行事一覧冊子の発行

峡南地域管内の保育所(園)、小中学校、県立学校、さらには関係機関のご協力によりまして例年発行している次の２種類の冊子の 25 年度版ができあがりました。

(1)『峡南地域における異校種や地域連携に係る各所(園)、各校の行事予定(上半期分)』
(2)『平成 25 年度峡南地区「地域教育推進」に係る関係機関の施策・行事年間計画一覧』

関係各方面にはすでにお手元にお届けしてあると思いますが、ご承知のとおりこのふたつの冊子では、異校種連携や地域連携に関わるさまざまな行事を数多く紹介しています。是非、各地域社会や子どもたちのために多くの場面で有効活用されるようお願い申し上げます。掲載内容の詳細に関しては、それぞれの園・所・学校・関係機関または峡南教育事務所までお問い合わせください。

なお、(1)の資料については今年度上半期分のみとなっています。下半期分に関しては、夏頃に再度調査させていただいた上であらためて発行する予定です。関係の皆様のご協力をお願いいたします。

笑顔あふれて楽しみながら子育てを

市川三郷町　定林寺立正保育園

♪「ピアノに合わせて歩きましょう！
そして、ほら、高いたかーい、ジャーンプ！」♪

園長先生の明るいかけ声で今月の未就園児の交流の会が始まりました。定林寺立正保育園（大竹佐奈美園長）で、５月 22 日(水)午前 10 時、初夏の日差しが気持ちよく降り注ぐ中、５組のお母さんと小さな子どもたちが集まり、恒例の「リトミック・ドレミ」が開催されました。

リトミックというのは、音楽による身体活動や身体表現をとおして、感性や知性、身体能力を育むという教育的取り組みです。定林寺立正保育園ではこれをもとに毎月第４水曜日の午前中に園内外に呼びかけて、お母さんと未就園児を対象とした、開かれた交流会を実施しています。この保育園では幼稚園も併設されていることもあり、多様な試みが展開されています。この日は、「トントントントン、アンパンマン」でうち解けた後、ピアノの伴奏に合わせたお母さんと子どもたちのステップがはじまりました。そしてステップの後は、お楽しみのお遊びの時間も用意されています。

「今日は絵の具を使いましょう！」棒の先に丸めたガーゼをつけたスタンプで、丸い画用紙に鮮やかな色をつけていきます。葉っぱの飾りをつけたら「あじさい」のできあがりです。子どもたちはみんな夢中でペタペタやって、部屋いっぱいに歓声が響き渡りました。

続くおやつの時間には、お母さんたちの情報交換や保育士さんとの子育て相談で話が弾みます。「お兄ちゃんと違っていて…」「大丈夫、心配ありません、それは個性ですよ！」。心配顔だったお母さんの表情が緩みました。

「最近、お母さんがひとりで抱え込んだり、子どもの遊び場が限られたりすることが多いようですね…。気軽に集える場になれば」と大竹園長は、お母さんたちの頼もしいサポーター的存在になっています。保育園の枠を越えた「子育ての輪」が広がっています。

ことぶき勧学院短信

平成 25 年度講座 スタート

４月の入学式・峡南教室開講式で始まった今年度の「ことぶき勧学院」は、新しい体制のもと、いよいよ本格的な活動をスタートさせました。５月 17 日(金)には２年生の「図書館の魅力」と題する講座が県立図書館で、21 日(火)には１年生の「福祉介護・認知症サポーター養成講座」が県立文学館でそれぞれ他教室との合同行事として開催されました。どちらも甲府会場ということで距離が遠くなりましたが、それにもまして峡南教室から参加された皆さんのとても元気で熱意あふれる姿が非常に印象的でした。

映画「図書館戦争」のロケが行われた　地下書庫の見学（県立図書館）

福祉介護講座(県立文学館)

峡南地域のお知らせ

峡南地域の、保育所(園)･幼稚園･各学校等の行事について随時お知らせします(今回は県立学校等の前期の主なもの)。予定は変更される場合もありますので、詳細については各学校にお問い合わせください。

増穂商業高校（TEL 0556-22-3185）	授業公開	６月 17～21 日
	一日体験入学	６月 22 日(土)
市川高校（TEL 055-272-1161）	龍膽祭(学園祭)	６月 26～27 日
	オープンスクール	７月　６日(土)
身延高校(TEL 0556-62-1045) ※　年度当初の予定から変更	身高祭(学園祭)	６月 19～21 日
	学校説明会	７月 27 日(土) ※
	一日体験入学	８月 31 日(土)
峡南高校(TEL 0556-37-0686)	オープンスクール	８月 10 日(土)
	親子木工教室(ぴゅあ峡南)	７月 28 日(日)
身延山高校（TEL 0556-62-3500）	学校説明会　６月 19 日(水)、７月 17 日(水)･26 日(金)	
	宿坊体験	７月 26～28 日
わかば支援学校ふじかわ分校(TEL 0556-27-0067)	第１回オープンスクール	６月 25 日(火)

☺　編集後記　☺

今月、念願だった富士山の世界文化遺産登録がついに達成される見通しです。また今年は、「やまなし国文祭」が通年実施という初の試みとして県内各地で展開されています。平成 25 年は、あらためてふるさとを見つめ直し、その貴重な価値を認識する絶好の機会となる一年だといえましょう。小さな山梨、でもかけがえのない自然と多様な文化に恵まれた豊かな山梨、子どもたちに大切に残していきたいものです。